

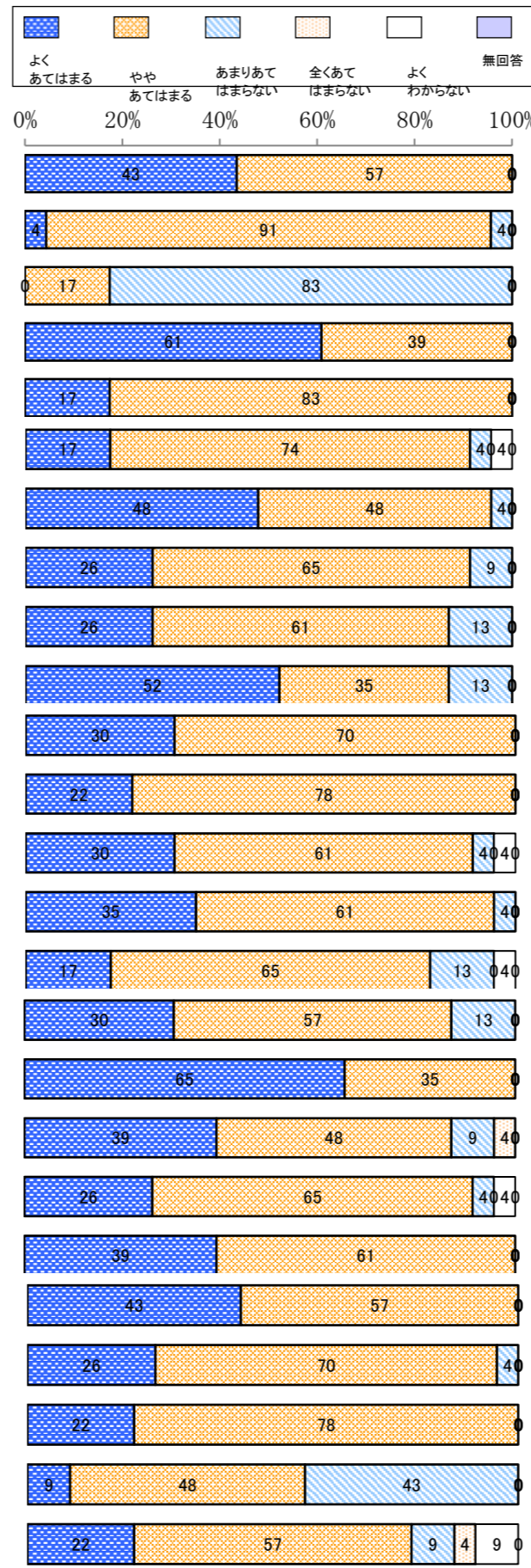
令和元年度 『学校評価アンケートの結果』と『自己評価』

荒川区立第五峡田小学校

様式 4

		アンケートの結果		上段：児童 下段：保護者等 クラブ：教職員						
		A	B	C	D	よく分からない	無答			
学校全体の様子	1 教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	41	40	13	2	4	0		
	2 児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	65	24	7	2	1	0		
	3 基本的な生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的な生活習慣がしっかりしている。	37	44	15	2	2	0		
	4 児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	40	43	12	2	4	0		
	5 健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	53	30	10	5	2	0		
学力向上の取組	6 分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	52	34	9	2	3	0		
	7 個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	57	30	9	2	3	0		
	8 学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	58	26	10	5	1	0		
	9 情報教育	タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	59	28	9	1	3	0		
	10 学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	66	23	7	2	2	0		
社会性・人間性の育成	11 人権教育	自他を大切にし、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	59	31	6	2	2	0		
	12 道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐむ教育を行っている。	39	39	12	5	5	0		
	13 教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	44	29	15	7	6	0		
	14 人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	72	17	8	2	1	0		
	15 自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が主体的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	52	35	9	1	3	0		
保護者・地域との連携	16 情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	47	24	10	3	16	0		
	17 相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。	55	30	8	3	4	0		
	18 学校への参加	学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	56	24	11	5	4	0		
	19 地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	46	29	13	5	7	0		
	20 意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	51	31	6	2	10	0		
各学校の特色ある教育	21 家庭との連携	学校は、家庭と連携を図りながら、発達段階に応じた指導・支援を進めている。	45	31	8	3	13	0		
	22 コミュニケーション活動	学校は、多様な表現活動を通して、コミュニケーション能力の育成に努めている。	44	33	11	6	6	0		
	23 外部人材・体験的活動	学校は、地域との交流や外部人材等を積極的に活用して学習を進めている。	53	30	5	3	8	0		
	24 生活指導・学習規律	児童は、学習用具や宿題、提出物などを忘れずに準備し、授業等に臨んでいる。	43	35	14	5	4	0		
	25 地域に根ざした学習	学校は、地域の伝統や文化を学ぶ機会を設け、地域のよさや歴史をそんちようしようとする心や態度を育てている。	51	30	9	4	6	0		

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）	
よくあてはまる、ややあてはまるが、児童、保護者とも約80%で、教育目標の周知はできている。児童の20%が、ややあてはまらないやあてはまらないと回答しているため、児童の発達の段階に応じて、わかりやすく話したり、具体的な姿を示したりする必要がある。	
よくあてはまる、ややあてはまるが、児童、保護者とも80%がこえており、学校生活を楽しく送っていることがわかったが、全くあてはまらないと回答した児童や保護者も数名いるので、面談など児童理解に努めていく。	
児童、保護者と教職員では、あてはまらないと回答数には大きく差があり、認識の違いがある。学校での様子を保護者に伝えたり、基本的な生活習慣について児童保護者と確認したりすることが必要である。	
あてはまる、ややあてはまるが、児童、保護者とも80%を超えており、教職員の児童理解には対して評価しているが、13%の児童が、ややあてはまらない、あてはまらないと答えており、更に丁寧にみていくことも必要だ。	
ややあてはまらない、あてはまらないと回答した児童が各学年に一定数おり、健康面なのか安全面なのか、教職員や保護者とは質問項目への理解が違ってくるように思う。	
児童保護者も分かりやすい授業が実践されていると85%以上が回答しているため、これからさらに授業改善に努めていく。	
3～6年生は算数習熟度のコースを、1コース増やし、よりきめ細やかに指導したこともあり、児童の中には、よくあてはまると回答した児童が多い。	
児童は、家庭学習に取り組んでいると感じているが、教職員や保護者には不十分であると感じているところがある。家庭学習の取り組み方や放課後の寺子屋教室について周知していく。	
児童はタブレットPCを使って学習していると感じているが、保護者には十分に伝わっていないところがある。ICT機器の活用については、教員によって取り組みに差があり、研修などを行い、情報教育の充実を図りたい。	
調べ学習に取り組んだり、司書と協力して授業を作ったりして、図書館の活用を行っているため、教職員と児童の評価は高い。保護者には十分に伝わっていないようなので、周知の仕方を工夫していく。	
教職員も児童も人権意識は高まっているが、保護者には伝わっていないようだ。道徳授業地区公開講座や保護者会等で、学校の取り組みや児童の様子を伝えるなどして、学校と連携して人権教育に取り組んでいく。	
特別の教科道徳になり、授業の工夫や評価を行っているが、児童や保護者には、10%ほどややあてはまらないと回答している。さらに授業や評価の工夫を行っていく。	
ややあてはまらない、あてはまらないが、児童保護者では13%、わからないが保護者では21%もいる。スクールカウンセラーとも連携して教育相談に取り組んできたが、保護者にはなかなか伝わっていないようだ。	
児童は学校行事に積極的に取り組んでおり、保護者も楽しみにし、学校を支えていた。	
あてはまる、ややあてはまるが、児童、保護者とも80%を超えており、児童が積極的に取り組んでおり、保護者にも伝わっていることがわかる。	
ホームページや各便り、で、学校の様子を伝えてきたので、保護者には、よくあてはまる、ややあてはまるが88%となっている。児童には伝わっていない部分もあるので、提示の仕方など工夫していく。	
児童の約10%があてはまらないと答えている。一人ひとりの児童理解に努め、対応をしていく。	
学校行事の関心が高く、土曜授業日も多くの参観者があり、参加しやすくなっている。	
児童への質問は、行事に参加しているかなので、多くの児童が参加していることがわかる。学校と地域との連携は見えづらいので、わからないと回答した保護者が多くなっている。	
教職員は、地域や保護者の意見を反映して教育活動を行っているが、保護者や児童には、わからないと回答が多くなっている。意見を反映して改善したこともあるので、周知を図っていきたい。	
家庭との連携をとりながら発達段階に応じた指導・支援を進めているが、わからないと回答した保護者や児童が15%以上いる。面談のあり方などを工夫し、一人ひとりに応じた支援をよりきめ細やかに行っていく。	
ややあてはまらない、あてはまらないと回答した児童が1%ほどいる。言語活動の充実のため、言語環境の整備や活動の工夫を行い、活動の様子を保護者にも見ていただく機会をもつようにする。	
外部講師を招いたり、体験的な活動を取り入れたりしてきたが、保護者や児童の中には、わからないの回答が多かった。ねらいを明確にし、保護者にも参加の呼びかけや活動報告を行い、周知していく。	
ややあてはまらないと回答した教職員が多く、児童、保護者との回答と差が出ている。保護者と連携を図り、生活指導や学習規律の確立を行い、児童にあった指導を行っていく。	
80%以上が、あてはまる、ややあてはまると回答している一方、10%程度がややあてはまらないと回答しており、三者同じ傾向だった。これまでの取り組みの見直しや地域や児童にあった授業改善も必要だ。	